

令和 5 年度の総合事業の事業評価

1 総合事業

〈プロセス指標〉

以下の 7 項目について、事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに 4 段階で評価する。

4 段階の評価 (1.できている、2.ある程度できている、3.あまりできていない、4.できていない)

指 標	評価段階	評価理由
① 地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有できるよう、総合事業の企画・実施・評価のプロセスの中で、地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われているか。	2.ある程度できている	・ 支え合う地域づくり協議体構成員に住民代表者を配置しており、毎年、協議体において地域住民の意見収集や協議への住民参画が行われている。 R5年度は、支え合う地域づくり協議体を 1 回開催した。 ・ 令和 4 年度に介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施し、高齢者の生活状況等の把握を行った。(介護保険事業計画策定に伴い、3 年毎に実施)

<p>② 地域包括ケアシステムの構築に向けた基本方針及び目的を共有できるよう、介護サービス事業者、医療機関、民間企業、NPO 法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、住民等のあらゆる関係者に働きかけを行っているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が参加する在宅医療・介護連携推進会議を1回、支え合う地域づくり協議体を1回開催し、関係者に働きかけを行った。
<p>③ 自治会、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、ボランティア、NPO 法人、社会教育関係者の活動状況等について地域資源として適切に把握できているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合う地域づくり協議体構成員に各代表者を配置しており、R5年度は1回開催した。 ・今年度策定の第9期介護保険事業計画と同時に介護保険ガイドブックを更新し、冊子「あなたの笑顔を支える介護保険」に総合事業で利用できるサービスについても掲載している。(各戸配布及び町ホームページ掲載)

<p>④ 介護予防の推進、生活支援の充実に関する行政課題を整理できているか。</p>	<p>1.できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場（いきいき百歳体操）は、現在 31 か所で実施しており、開催計画数を達成した。 ・1人で買い物や公共交通機関の利用等が困難で、自立した日常生活に支障がある 65 歳以上の高齢者を対象に、シニアカーの購入またはレンタル費用の助成を行い、高齢者の方の外出する際の利便性の向上を図る。(3分の1以内で上限 10 万円の助成) ・身近な商店が少なくなり、日々の買い物ができなくなっていることから、JA において移動販売車の巡回及び電話注文による個別配達を行っている。
--	----------------	---

<p>⑤ 介護予防の推進、生活支援の充実を図っていくうえで、長期的な視点をもって具体的な戦略を立てられているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、福祉人材が不足する中で元気な高齢者による社会参加の促進のため、介護支援ボランティア活動事業を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設ボランティアの再開が出来ていない状況がある。R6年度から再開に向けて、事業所と連携していく予定である。 ・介護予防活動団体支援事業として、高齢者が自ら介護予防に取り組む団体等（通いの場等）に、介護予防活動の実施に要する経費として補助金を交付している。 ・一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加を見据えた生活支援ニーズへの対応が必要である。
<p>⑥ 総合事業に関する苦情や事故を把握しているか。</p>	<p>1.できている</p>	<p>地域包括支援センター及び指定介護サービス事業所等と連携している。</p>

<p>⑦ 関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）において情報を共有するため、共有する情報の範囲、管理方法及び活用方法に関する取り決めをしているか。</p>	<p>2.ある程度できている</p>	<p>個々の会議では、それぞれ取り決めはあるが、横断的な情報共有において取り決めはない。</p>
---	--------------------	--

〈アウトカム指標〉

以下の定量的指標を用いて、総合事業による効果の評価を行う。

指 標	評価方法		
<p>① 65歳以上新規申請者数及び割合</p>	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
	139人/3,366人	157人/3,256人	154人/3,154人
	4.1%	4.8%	4.9%

<p>② 65歳以上新規認定者数及び割合 (要支援・要介護度別)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度末</th> <th colspan="2">令和4年度末</th> <th colspan="2">令和5年度末</th> </tr> <tr> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61人</td> <td>78人</td> <td>56人</td> <td>72人</td> <td>53人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>1.8%</td> <td>2.3%</td> <td>1.7%</td> <td>2.2%</td> <td>1.7%</td> <td>2.9%</td> </tr> </tbody> </table>	令和3年度末		令和4年度末		令和5年度末		要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護	61人	78人	56人	72人	53人	93人	1.8%	2.3%	1.7%	2.2%	1.7%	2.9%
令和3年度末		令和4年度末		令和5年度末																					
要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護																				
61人	78人	56人	72人	53人	93人																				
1.8%	2.3%	1.7%	2.2%	1.7%	2.9%																				
<p>③ 65歳以上要支援・要介護度認定率 (要支援・要介護度別)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度末</th> <th colspan="2">令和4年度末</th> <th colspan="2">令和5年度末</th> </tr> <tr> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> <th>要支援</th> <th>要介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>165人</td> <td>572人</td> <td>156人</td> <td>537人</td> <td>155人</td> <td>525人</td> </tr> <tr> <td>4.9%</td> <td>17.0%</td> <td>4.8%</td> <td>16.5%</td> <td>4.9%</td> <td>16.6%</td> </tr> </tbody> </table>	令和3年度末		令和4年度末		令和5年度末		要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護	165人	572人	156人	537人	155人	525人	4.9%	17.0%	4.8%	16.5%	4.9%	16.6%
令和3年度末		令和4年度末		令和5年度末																					
要支援	要介護	要支援	要介護	要支援	要介護																				
165人	572人	156人	537人	155人	525人																				
4.9%	17.0%	4.8%	16.5%	4.9%	16.6%																				
<p>④ 日常生活圏域二一ズ調査等による健康に関する指標の状況</p>	<p>介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（令和4年度実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査期間：令和4年11月14日～11月30日 ・調査対象：大崎上島町に居住し、要支援1・2の高齢者、総合事業対象者、 要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者2,000人 																								

	<p>・回収状況</p> <table border="1" data-bbox="1178 272 2080 429"> <thead> <tr> <th data-bbox="1178 272 1480 349">配布数</th> <th data-bbox="1480 272 1783 349">回収数</th> <th data-bbox="1783 272 2080 349">回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1178 349 1480 429">2,000件</td> <td data-bbox="1480 349 1783 429">1,363件</td> <td data-bbox="1783 349 2080 429">68.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 第9期介護保険事業計画策定に伴い、令和4年度実施</p>			配布数	回収数	回収率	2,000件	1,363件	68.2%
配布数	回収数	回収率							
2,000件	1,363件	68.2%							
⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	<table border="1" data-bbox="1016 624 2080 780"> <thead> <tr> <th data-bbox="1016 624 1373 700">令和3年度(円)</th> <th data-bbox="1373 624 1727 700">令和4年度(円)</th> <th data-bbox="1727 624 2080 700">令和5年度(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1016 700 1373 780">30,130,937</td> <td data-bbox="1373 700 1727 780">28,337,279</td> <td data-bbox="1727 700 2080 780">28,186,056</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度(円)	令和4年度(円)	令和5年度(円)	30,130,937	28,337,279	28,186,056
令和3年度(円)	令和4年度(円)	令和5年度(円)							
30,130,937	28,337,279	28,186,056							
⑥ 予防給付と介護予防・日常生活支援総合事業の費用総額	<table border="1" data-bbox="1016 863 2080 1019"> <thead> <tr> <th data-bbox="1016 863 1373 940">令和3年度(円)</th> <th data-bbox="1373 863 1727 940">令和4年度(円)</th> <th data-bbox="1727 863 2080 940">令和5年度(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1016 940 1373 1019">49,224,011</td> <td data-bbox="1373 940 1727 1019">47,275,468</td> <td data-bbox="1727 940 2080 1019">46,476,624</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度(円)	令和4年度(円)	令和5年度(円)	49,224,011	47,275,468	46,476,624
令和3年度(円)	令和4年度(円)	令和5年度(円)							
49,224,011	47,275,468	46,476,624							

2 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）

〈プロセス指標〉

以下の6項目について、事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに4段階で評価する。

4段階の評価（1.できている、2.ある程度できている、3.あまりできていない、4.できていない）

指 標	評価段階	評価理由																												
① 窓口で相談に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続き方法について十分な説明を行っているか。	1.できている	<p>パンフレット等を活用し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続き方法について説明を行っている。電話での相談も多く地域包括支援センターにて訪問等行い、対応を行っている。</p> <p>【令和5年度 相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電話・メール</th> <th>来所</th> <th>訪問</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136</td> <td>38</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>185</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和5年度 対応実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談</th> <th>情報提供</th> <th>連絡調整</th> <th>家庭訪問</th> <th>取次斡旋</th> <th>申請代行</th> <th>確認聞取</th> <th>実態把握</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>178</td> <td>257</td> <td>230</td> <td>69</td> <td>142</td> <td>151</td> <td>91</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	電話・メール	来所	訪問	その他	計	136	38	6	5	185	相談	情報提供	連絡調整	家庭訪問	取次斡旋	申請代行	確認聞取	実態把握	その他	53	178	257	230	69	142	151	91	4
電話・メール	来所	訪問	その他	計																										
136	38	6	5	185																										
相談	情報提供	連絡調整	家庭訪問	取次斡旋	申請代行	確認聞取	実態把握	その他																						
53	178	257	230	69	142	151	91	4																						

② 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。	1.できている	国の様式を参考に様式を作成し、様式を統一している。
③ 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握しているか。	1.できている	各事業所と定期的に情報交換を行うなど実施状況等の把握を行っている。
④ 介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。	2. ある程度できている	月毎のサービス実施状況を作成し把握している。
⑤ 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の実施計画の見直しを行っているか。	1.できている	計画に基づく実施状況を「取組と目標に対する自己評価シート」で評価及び検証を行い、町のHPへ掲載している。
⑥ 要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の個人情報が共有されることについて、十分な説明を行い、同意を得ているか。	1.できている	個人情報利用同意書にて説明・同意を得ている。

以上の定性評価に加えて、以下の定量的指標を用いて介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の評価を行う。

指 標	評価方法					
① 介護予防ケアマネジメント依頼書受理件数	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	20件		28件		34件	
② 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況 ※ 上段：延べ人数（人）、下段：費用額（円）	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	訪問型 サービス	通所型 サービス	訪問型 サービス	通所型 サービス	訪問型 サービス	通所型 サービス
	463	613	399	680	459	588
	6,876,495	13,289,576	5,343,638	12,339,313	6,016,029	10,879,728

〈アウトカム指標〉

以下の定量的指標を用いて、総合事業による効果の評価を行う。

指 標	評価方法
① 主観的健康感	通所型サービスC参加者へアンケートを実施（後期分のみ） 通所C開始前： 良い1人、ふつう3人、悪い1人 通所C終了後： 良い1人、ふつう4人、悪い0人

3 総合事業（一般介護予防事業）

〈プロセス指標〉

以下の4項目について、事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスについて、適切にできているかを年度ごとに4段階で評価する。

4段階の評価（1.できている、2.ある程度できている、3.あまりできていない、4.できていない）

指 標	評価段階	評価方法
① 地域の多様な主体との連携	1.できている	通いの場支援等の会議の開催。（リハビリテーション部門連携推進会議）
② 関係団体との連携による専門職の関与	1.できている	地域包括支援センター、町内事業所施設に勤める療法士及び町外のリハビリテーションサポートセンター療法士の関与がある。
③ 通いの場への参加促進（ポイント等）	1.できている	保健衛生課が主管するポイント付与制度（わくわく元気ポイント）の実施。 （上限：50ポイント 乙姫カード5,000円分と交換）

④ 通いの場に参加する高齢者の状況の把握 の実施	1.できている	年1回の体力測定とアンケート調査の実施。 ※ 令和5年度からは、後期高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施により、保健衛生課で体力測定等実施。
-----------------------------	---------	--

〈アウトカム指標〉

以下の定量的指標を用いて、一般介護予防事業による効果の評価を行う。

指標	評価方法
① 通いの場をはじめとする社会参加の拡大	高齢者人口の10%以上の参加率の維持向上。(R5年9月末15.3%) ポイント付与制度(わくわく元気ポイント)交換者数のわずかながら増加傾向。